

〈学校教育目標〉
よく学び、たくましく生きる心豊かな児童の育成
「元気な子 考える子 やさしい子」

総社市立維新小学校
令和元年9月13日
第22号

給水車で水汲みを体験！！

9月6日、地震を想定した避難訓練を実施。引き続き、大きな地震が起って、水道が止まり、給水車がやって来たという想定で給水車からの水汲み体験を行いました。総社市上水道課の方が5人来られ、給水車の説明をしてくださった後、児童は頂いた給水袋（ひもを通して背負えるようになる）に給水車から水を汲んでいきました。操作は簡単なので、10分程度で全員、水を汲むことができました。最高で袋には6リットルの水を入れることができますが、背負うと重い低学年の児童は少なめに入れていました。

給水車の水は水道水ですから、児童が汲んだ水をその日の学校生活に利用することにしました。40リットル入りの桶3つに移し換え、柄杓を使って利用しました。歯磨きや手洗い、うがい、掃除、水やり等に使っていきました。（トイレの流水や手洗いは、水道を利用）この体験を通して水のありがたさや大切さ、水道の便利さなどが実感できたと思います。3・4年生は給水車体験の後、水道課の方々から講師となって防災学習を行いました。14日の五つ星学園子ども祭りでも給水車体験が可能です。



総社市上水道課の方の説明を聞く児童。後ろには見えるのが給水車です。



避難訓練で所定の場所に集合。2分3秒で全員が集合できました。



給水車からのホースを給水袋の口に差し込んでコックをひねると水が入ります。集中してこぼれないように水を入れていきます。6リットル入ると、袋がパンパンになります。



水道課の方の説明を聞きながら、給水袋にひもを通していき、背負えるようにしました。



水6リットルは6キログラム。「結構重いなあ。ランドセルより重いね。でもちょっとひもが長すぎたかな。冷たくとっても気持ちいいね。」と話しているのかも？



歯磨き用の水を桶から柄杓を使って上手にコップに入れていきます。

上水道の仕組みや災害時のために備えておくことなどを学習しました。（3・4年生）

